

週間漁海況情報—第14号

平成26年4月7日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/>で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

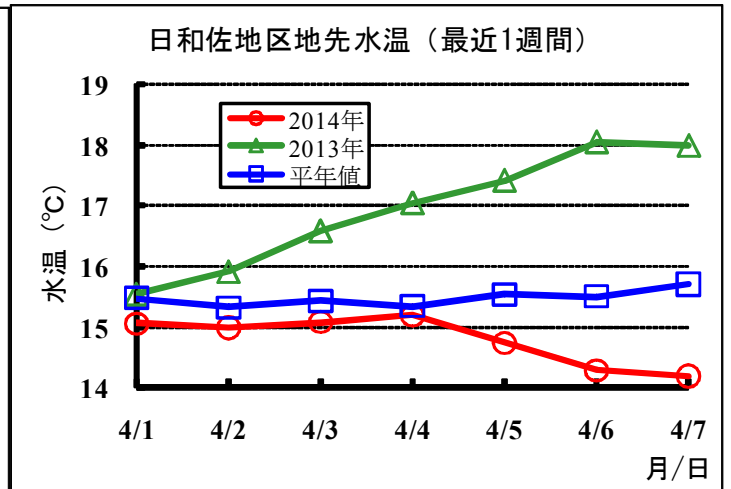
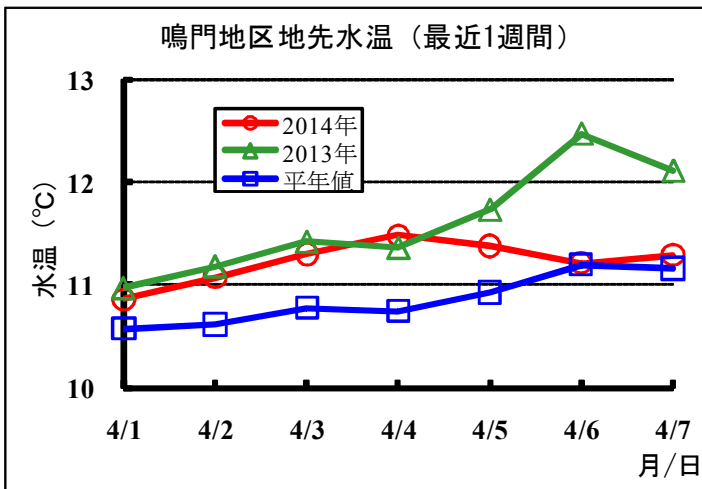
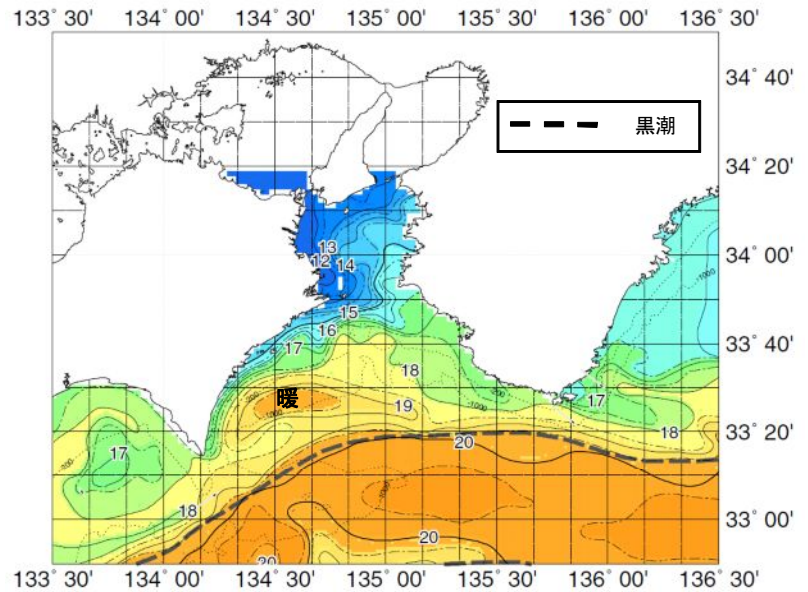
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.4.7）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で11℃台、紀伊水道で11～16℃台、海部沿岸で14～18℃台である。紀伊水道外域では、海部沖に暖水塊がある。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」の10.9～11.5℃、日和佐地区は「低め」～「平年並」の14.2～15.2℃、牟岐地区は「低め」～「平年並」の14.3～15.8℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.3トン(1日1隻当たり5kg)水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、ハマチが0.2トン(同41kg)、ブリが6.5トン(同1.3トン)、イシダイが0.3トン(同67kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にタチウオが0.2トン(同13kg)、ハマチが0.6トン(同18kg)、メジロが0.2トン(同7kg)、サワラが0.2トン(同30kg)水揚げされた。紀伊水道で「特大主体にタチウオが0.2トン(同13kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 2014年3月31日～2014年4月6日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	60	312	5	大主体
大型定置網		ハマチ	5	207	41	
		ブリ	5	6,531	1,306	
		イシダイ	5	334	67	
釣り	海部沿岸	タチウオ	16	214	13	大主体
		ハマチ	32	578	18	
		メジロ	28	209	7	
	紀伊水道	サワラ	8	239	30	
		タチウオ	15	202	13	特大主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の4月1日～4月7日には、延縄では海部沿岸で、大主体にキダイが0.2トン(1日1隻あたり10kg)水揚げされた。

小型定置網では海部沿岸で、マメ主体にマアジが2.0トン(同62kg)、カタクチイワシが1.7トン(同45kg)、キビナゴが1.7トン(同110kg)、マルソウダが1.0トン(同44kg)水揚げされた。

大型定置網では海部沿岸で、大主体にマアジが0.8トン(同159kg)、小小主体にマサバが1.3トン(同252kg)、カタクチイワシ主体にイワシ類が1.7トン(同341kg)、中主体にヒラマサが0.3トン(同59kg)、メジロが0.2トン(同44kg)、ハマチが1.6トン(同314kg)マルソウダが0.2トン(同47kg)水揚げされた。

釣りでは海部沿岸で、中主体にカツオが9.2トン(同95kg)、特大主体にヨコワが0.8トン(同20kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、サヨリ類が0.6トン(同50kg)水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「接岸」、潮岬沖において「やや離岸」から「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の11℃台、日和佐地先で「平年並」の14～15℃台で推移する見込み。